

社会福祉法人「福寿園」機関紙



愛と感謝と奉仕

ひまわり



第16回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 市川 里美 様

- 2 各施設文化祭開催
- 3 第11回職員海外研修旅行
連載●マジックワード紹介
- 4 連載vol.39●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 5 ▶ 8 各施設トピックス
- 9 ▶ 10 福寿園ニュース
- 11 家族会だより
- 12 連載●New ひまわりギャラリー
連載●ボランティアさんいつも
ありがとうございます
連載●外国人介護福祉士候補者
リレーインタビュー

148号

令和元年11月10日

各施設で秋の文化祭が行われました。



ひまわりフェスタ

ひまわりの街

10月20日、秋の文化祭「ひまわりフェスタ」を行いました。当日は晴天、秋らしい心地よい風が吹く、絶好のフェスタ日和でした。飲食バザー、キッチンカーの出店、あい福の里の野菜や、昭和の里のパン等が外に並び、たくさんの方が足を止め買い求めていました。式典のオープニングでは、竜神中学校の生徒が合唱を披露してくださり、綺麗な音色が会場に響き渡っていました。「今夜は離さない」が大ヒットした安倍里種子さんの歌謡ショーでは、会場全員が今日の盛り上がりを見せ、入居者の笑顔が満開でした。

くすのきフェスタ

くすのきの街

快晴に恵まれた10月27日、第2回くすフェスタが行われました。
武豊中学校吹奏楽部の総勢52名による素晴らしい演奏とともに開会し、餅投げや、福寿園職員で構成されたLTSジャズオーケストラなどで賑やかに進行了しました。午後からは、福祉の絵手紙表彰式の後、黒沢博さんによる歌謡ショーが行われました。ヒット曲「3年目の浮気」を奥様とデュエットされたり、会場をまわりながらの歌やトークで大変盛り上がり、とても楽しいひと時となりました。





第11回職員海外研修旅行

フィリピン

9月28日～10月3日の6日間、傍嶋团长率いる12名のメンバーで、フィリピン海外研修へ行ってきました。

最初に訪れたマニラでは、セントドミニカレッジ、さくら日本語学校を視察。他の国と比べて、日本の受け入れ条件の厳しさと、フィリピンで待機している技能実習生の現状について学ぶことができました。日本語学校で学ぶ生徒たちの授業風景を見せていただき、日本へ来ることを心待ちにしているひたむきな姿勢に感銘を受けました。

10月1日からはダバオへ移動。福祉施設



設の視察や、ミンダナオ国際大学で福寿園プログラム学生の方々に介護技術、日本食紹介などの出前授業を行い、午後からは小グループに分かれて学生たちに地域を案内してもらいました。スーパードなどでお土産を買ったり、ジブニーに乗ったり、お茶をしたりする時間も作っていただき、学生たちの元気さと陽気さに圧倒されながら、楽しく親交を深めることができました。

また、世界遺産のサン・アグスチン教会やサンチャゴ要塞、日本記念公園など、歴史的な名所を観光し、チョコレート工場でチョコ作りに挑戦するなど、視察以外にもいろいろな経験をさせていただきました。

今回の研修を終えて、EPA、技能実習生、留学生をより身近な存在として感じています。また、一緒に働く仲間として、どのようにサポートして行けばよいのかと改めて考える良い機会となりました。

連載 6

介護現場で生まれた マジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から
紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍『介護現場で生まれたマジックワード100』について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。1ワードずつ感想を添えてご紹介します。



そんなときもあるわなあ。

入居者のケアをしているとき、「身体が痛い」「身体が言うことを聞かない」など、自分の身体の本調子が分かるからこそ、現状についてネガティブな発言をする方をよく見かけます。そんなとき、「そうなんですね」「痛いんですね」と共感の言葉を口にしても、入居者は苦痛に顔をゆがめたり、困った表情をするばかりです。

どうにか心がほぐれる言葉はないかと考えていたときに、自分自身が親から言われた言葉を思い出しました。

「そんなときもあるわなあ。」

当時、少し気が楽になったのを覚えていたので、その言葉を入居者に投げかけてみました。すると、

「言葉というものは、優しさや温かさであふれているなと感じました。人は、言葉一つで相手の事を笑顔、幸せにできることも合わせて感じました。心がほっこりする気持ちが通じ合うコミュニケーションで、私も利用者にたくさんのお言葉を届けたい!!と思いました。」

（特別養護老人ホーム・介護職員）

連載 39

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



私は昭和6年9月8日、名古屋市熱田区に生まれました。兄2人弟2人の5人兄弟の中で、女らしさが失われると思ったのか、夏休みになると従姉妹のいる田舎に預けられていました。戦局がだんだん厳しくなり、女学校に入学してもまともに授業を受けられたのは一学期のみで、9月からは学徒動員で兵器生産のため、愛知航空機に行くことになりました。

12月になって新工場ができ、そちらに移って間もなく、12月7日、米軍の大艦隊が遠州灘沖にきているから家に帰るようと言われる、午後家に戻りました。母はでかけており、弟二人と留守番をしていると、昭和東南海地震が発生。屋根瓦は落ちる、

ガラス戸は割れる、家の床は持ち上がるといった状況で大変でした。工場も倒壊し、学校に機械を移してそこで作業することになりました。そんな中、5月14日の夜中に空襲を受け、一面焼け野原に。家も学校も焼夷弾で焼けてしまいました。6月になって鷹木の陸軍工廠の寄宿舎に入り弾丸作りをすることになり、8月の終戦を迎えた時には、負けたということよりも、やっと帰れるという喜びで皆ホッとなりました。

昭和24年3月に旧制の女学校を卒業、就職をして4年後に結婚し、53



歳の時、夫の実家がある熊本に移住しました。平成18年に夫が脳梗塞で倒れ、4年の看病の後亡くなりました。夫の死後は、校区老人会の副会長としていろいろお世話をさせていただきました。しかし、庭で花を切ってい

たところ転倒し、4時間後にやっと自力で救急に連絡し、入院となりました。弟が愛知県豊橋市に住んでいたため、熊本では遠すぎるので近くに来るように言われ、「福寿」にお世話になることになりました。買い物や季節

節の行楽地を案内してくれ、年末年始は弟の家で過ごし、淋しくないように気を使ってくれるので、幸せな日々を過ごしています。リウマチ性多発筋痛症で足腰に痛みがあります。が、気長に治療を続けていこうと思っています。今では体が不自由なので昭和の里のデイサービスを週2回利用し、ヘルパーさんの助けを借りて、皆に迷惑をかけないよう静かに余生を過ごしています。



きど みちえ
城戸 美智恵
(サービス付き高齢者住宅 福寿)

プロフィール

生年月日：昭和6年9月8日
出身：名古屋市熱田区
趣味：書道とお花
好きな食べ物：寿司、天ぷら
好きな言葉：無駄を省き
人には親切に

各施設 TOPICS トピックス

ケアハウス パシフィック

ハッピーハロウィン！

10月31日はハロウィンです。パシフィックの玄関にも、大きなお化け



カボチャを飾りました。このお化けカボチャは、怖い顔にくり抜いて玄関などに飾ると魔除けの役割を果たしてくれるそうです。今回、入居者さんには馴染みのないハロウィンを感じていただこうと、魔女の仮装をしていただきました。本物の魔女とは違い、優しい魔女に变身です。とてもよくお似合いですね。

ひまわり邸 秋の満腹祭！

10月17日に秋の満腹祭を開催しました。今年も大船渡から産地直送で届いたさんまを炭火でこんがり焼き、焼き立てを食べていただきました。他にも、厨房職員お手製の、秋の味覚たっぷり茶わん蒸しや、新米の魚沼産こしひかりなどを味わいました。

今回は、エフエムとよたから若草姉妹さんをゲストで迎え、懐かしの歌謡曲を披露していただきました。皆さん一緒に口ずさんだり踊ったりと、会場は大盛り上がりでした。胃も心も満



たされ、大満足の一日となりました。

みなみ福寿園

ささえあいネットワークの集い

10月1日、高齢者見守りほっとライン協力機関の事業者様・高齢者クラブ代表の方々をお招きし、昨今話題となっている高齢者の交通事故の問題について、講話・グループワークを行いました。講話では豊田市の高齢者の交通事故の現状、移送支援のこれからなど、最新の情報を伺うことができました。グループワークでは、運転に不安のある高齢者に対して、本人・家族任せではなく、周囲の協力も必要など、当事者に寄り添いながら一緒に考えていけるような、前向きなご意見をたくさんいただきました。



これからも末野原中学校区が安全で暮らしやすく、やさしい思いの溢れる街となるよう、お手伝いして参ります。



田原福寿園デイサービス

秋到来！焼き芋大会

10月11日デイサービスで秋の味覚の焼き芋大会を開催しました。専用の機械を使い、石でゆっくりと焼き上げた産地直送の紅あずまは、なんとも言えない甘い香りがホールいっぱいに広がります。

あつあつのお芋をみんなでおぼりながら、利用者同士の笑顔の会話は、おいしいね。やっと秋が来たね」と、長く暑かった令和の夏を振り返りつつ、秋の味覚に舌包みの午後のひとときとなりました。

ひまわりの街デイサービス

ボンダンス

デイサービスに、ボンダンスという盆踊りとダンスをコラボレーションしたボンティアの皆さんが来園され、楽しい踊りを披露してくださいました。昔懐かしい歌に合わせて小道具や手を振ったりと、ご利用者と一緒になって歌いながら楽しみました。予想以上の盛り上がり、ボンティアの皆さんも大いに楽しめたようで、予定にない歌を全力で披露してください、まるでデイサービス全体がライブ会場のような雰囲気です。次回も盛り上がりました。次回の予約もし

養護盲福寿園

お好み焼きパーティー！

10月7日、秋風の心地よい夕暮れ時、お好み焼きスナックがにぎやかに開催されました。ホットプレート



てください、ご利用者、職員も今から待ち遠しく楽しみにしています。



を5台並べ、いざ開店！お好み焼きが次々と焼き上がります。

入所者の皆さんは、ビール、日本酒、ジュースなど、お好きな飲み物を片手に、焼きたて熱々のお好み焼きを頬張ります。

メニューは、枝豆・餃子・卵焼き・杏仁豆腐・コーヒゼリー、そして、お好み焼きは食べ放題！あちこちから「おかわりまだ?」の声があり、厨房職員は大忙し!!

カラオケ大会も行われ、自慢のものを競いました。最後は全員で『青い山脈』の大合唱、食べて歌って笑って、秋の夜長を楽しみました。

花の里

彼岸供養

9月21日、彼岸供養を行いました。西湖院の住職さんにお経をあげていただき、皆さん一人ひとり、お焼香をあげ、先祖に日頃の思いや感謝を捧げて合唱していました。その後、住職さんの説法をいただき、島倉千代子さんの『彼岸御和讃』の歌を皆で歌い、そして最後に住職さんより「次また来ますので、皆さん長生きしてくださいね」とお言葉をいただきました。

武豊町デイサービスセンター砂川 保育園交流

9月5日、隣接する保育園との交流会を行いました。「縁日」企画と



いうことで、子供も大人も楽しめる射的を用意し、65名の園児達が遊びにきてくれました。慣れない手つきで的を狙う園児達の姿に、利用者から「がんばれ」「惜しかったね」と声をかけていました。

打ち終わった園児には、利用者から参加賞の折り紙をプレゼント。参加賞をもらった園児から元気な声で「ありがとう」と言われて、利用者もとても喜んでいました。今後も、利用者と園児が楽しめる行事を行っていききたいと思っています。

実習やアルバイトで、ゆの里に来てくれている顔なじみの学生が、たくさん出迎えてくれました。癒しを求め、真つ先に向かったのが、『手浴』です。好きな香りを選び、丁寧にマッサージをしてもらいました。気持ちがよく、うっとりされた表情が印象的でした。学生手作りの展示、ゲームコーナーを巡り、焼き立てのみたちし団子を食べ、池ノ原公園を散歩しました。秋晴れのとても気持ちのいい天気で、絶好の学祭日和でした。

田原ゆの里 たつぷく祭に出掛けて



昭和の里あい福の里 昭和！あい福！合同バーベキュー

9月26日、昭和の里とあい福の里の就労支援事業所合同で、親睦を深めました。降水確率90%と心配しましたが、当日は曇り空で涼しく、絶好のバーベキュー日和となりました。過去最多の40名以上の参加があり、伊良湖休暇村で、あい福の里の獲れ立て椎茸！伊良湖の海の幸大あさり！美味しいお肉！をたらふく食べて、最後は花火で盛り上がりました。皆のてる坊主が大活躍した、最高のバーベキューとなりました。

9月27日に、地震と火災が起こったという想定で訓練を行いました。大きなサイレンが鳴り響く中、皆さん焦らずあわてず、真剣に訓練ができました。その後は消火器の使い方を学びましたが、初めてさわる消火器に悪戦苦闘して、水があつちへ行ったりこつちへ行ったり…。しかし、「火事だ！」と大きな声が響



ケアハウスきぬうら 地震火災避難訓練



ケアハウス武豊 いざ勝負!!卓球施設交流の巻

10月7日、挑戦状を手にいざ、ケアハウスきぬうらへ。今回はじめての卓球交流会。この日のために練習を重ねてきた皆さんの闘志はすさまじく、応援の声や拍手が施設の外まで響きました。入居者・職員混合チームによる団体戦と、同チームでラリー戦を行ない、卓球という共通の趣味を通して、とても和やかな雰囲気の中、気持ちのよい汗を流しました。

結果は…『勝利！ケアハウス武豊』

交流会終了後にはお茶やお菓子を囲みながら、さらに交流を深めました。

き渡っていました。夕食は炊き出し訓練で非常食を実食。「わかめご飯は硬かったけど、災害時はこれで十分」と、災害に備えた一日となりました。

渥美福寿園

娘さんの結婚式へin横浜

お盆も過ぎた8月17日、入居者さんが娘さんの結婚式に出席をするため、職員付き添いのもと、新幹線に乗って横浜まで出掛けました。駅では奥様が迎えに来てくれ、そのまま式場へと向いました。到着後、タキシードに着替え、本番が近づくと緊張感も高まってきました。挙式が始まり、親子3人で歩くバージンロード姿に感動し、娘さんからも「父とバージンロードを歩いて本当に良かった」と、感謝の言葉をいただきました。



ました。翌日は自宅で過ごされ、家族で楽しい思い出をつくられました。



ちた福寿園

認知症カフェオープン

10月25日、ちた福寿園のキッチンアゼリアにて、知多市で5つ目となる認知症カフェ『小梅カフェ大興寺』がオープンしました。オープニングセレモニーでは、知多市の宮島市長も出席してくださり、挨拶の中であちち福寿園への期待あふれるお言葉をいただきました。座談会では、初対面の方同士も和気あいあいとした雰囲気、お話も大変盛り上がり、参加者の皆様による健康体操も行い、参加者の皆様からも大変好評でした。

東海福寿園

ヨガでリフレッシュ

9月10日、職員対象のヨガ教室がスタートしました。大府市でインストラクターをやっている先生をお招きし、アロマの香りに包まれ、リラックスした雰囲気の中、日頃使わない筋肉や関節を動かしました。ほとんどの職員がヨガ初体験。途中「痛たたた…」の声が続きましたが、終わった後は心も身体もスッキリ！腰痛予防の姿勢や動作、リンパマッサージのやり方も教えてもらったので、自宅や職場で実践していきたいです。



豊田福寿園

皆で繋いだオレンジのタスキ

9月21日、『RUN伴(ランとも)』に参加しました。認知症の人と伴にタスキを繋ぐことで、誰もが地域で共に暮らす大切な隣人であることを実感していただきたいの思いのある活動です。北海道から繋がれてきたタスキを、豊田福寿園の6名のランナーが受け取り、次のランナーへ繋ぎました。利用者の皆さんもオレンジの旗を振り、「頑張れ〜!」と応援団として伴に参加しました。このタスキはこのあと海を渡り、台湾へと繋がります。



消費増税勉強会

9月11日、消費増税に伴う勉強会を法人本部にて開催しました。講師に伊藤税理士をお招きし、消費増税の概要や新たに導入される軽減税率制度を中心に、具体的な例を挙げながら、職員にわかりやすい言葉での勉強会となりました。職員からも多くの質問があがり、質疑応答の時間も大きく超過するなど、理解が深まる大変実のある勉強会となりました。当法人に関わる皆様に対し、増税に伴う混乱が起きないよう、万全の準備を整えて参ります。



第8回施設対抗レクリエーション大会開催



9月8日、豊橋創造大学アリーナにて施設対抗レクリエーション大会が開催され、職員とその家族、総勢280名が参加しました。法人内施設を9つのチームに分け、玉入れ、綱引き、女戦（椅子取り）・男戦（騎馬戦）、長縄とび、〇×クイズ、サバイバルリレー（パン食い、ドリブルシュート、三輪車競争、ぐるぐるバット、三人四脚）の6種目を競い合いました。令和最初の栄えある優勝を勝ち取ったのは、渥美福寿園・花の里・あい福の里チームでした。皆で親睦を深め、大人も子供も楽しめた一日となりました。

介護福祉士受験対策 プレ合宿

9月26日と27日にひまわりの街で、1泊2日の介護福祉士受験対策のプレ合宿を行いました。毎年1月に合宿を行っていますが、今年は事前に合宿の体験と学習方法の確認をしてみようという新たな試みです。初日は外部講師の講義を受講し、2日目は、模擬試験を行うクラスと前日の学習の振り返りを行うクラスの2クラスに分かれて学習しました。合宿が終わった後、みんな一緒に合格しよう！という一体感が生まれていました。国家試験まであと4か月。全員合格を目指します。



第1回ちた福マルシェ開催

ちた福寿園



9月22日、第1回目となるちた福マルシェを開催しました。台風の心配がされる中、急遽大型テントでの開催でしたが、ご利用者や地域の方々、職員のハンドメイド作品の販売のほか、地域と施設の飲食バザー、ステージパフォーマンスは予定通り行われ、大盛況でした。出店者の方たちからは、笑顔を作るお手伝いできた、喜びのメッセージもいただき来年が楽しみとなる第1回目の幕開けとなりました。

第16回 福祉の絵手紙

第16回福祉の絵手紙作品募集では、672点もの作品をご応募いただき、ありがとうございました。厳正なる審査の結果、各賞が決定し、10月20日のひまわりフェスタにて表彰式が行われ、受賞者へ賞状と副賞が贈られました。

今号より、受賞作品を表紙にてご紹介させていただきます。今回は最優秀賞の市川里美様の作品です。



宮田村へりんご狩りに 行ってきました



10月26日、長野県宮田村へ、法人がオーナー契約をしているりんごの木の収穫祭に行ってきました。各地区から家族連れで21名が参加し、中央アルプス駒ヶ岳のふもとに広がるりんご園で、完熟したりんごの収穫を楽しみました。収穫後は全施設で提供され、太陽の恵みをいっぱい浴びた甘いりんごを、皆で美味しくいただきました。

福寿園サンフラワーズ 全国社会福祉軟式野球大会に出場

9月24日～26日の3日間、第37回全国社会福祉軟式野球大会 北海道旭川大会に出場しました。全16チームのうち、福寿園サンフラワーズは中部東海ブロック代表として、11年ぶり3回目の出場。北陸ブロック代表の陽風園(石川県)との対戦となりました。試合開始早々から好守が連発し、良い雰囲気でも盛り上がっていきましたが、試合が進むにつれ強打の打線に圧倒され、こちらは何度かチャンスはありましたがあと一本が出ず、最後は相手のエースにねじ伏せられて試合終了、1対3で敗れました。

毎年参加している愛知県老人福祉施設協議会の野球大会は現在六連覇中ということもあり、全国大会ではどこまで通用するかを試したかったのですが、結果以上に力の差を感じました。全国の舞台は強者ばかりで、全力で戦う真剣勝負は、最高にわくわくして本当に楽しかったです。



第1期技能実習生 本部歓迎会・導入研修について



10月28日に第1期技能実習生【介護】8名の歓迎会を法人本部ひまわりホールにて行いました。技能実習生は8月27日に来日し、2ヶ月間の日本語研修・介護研修を経て各施設へ配属となりました。技能実習制度は、監理団体・送り出し機関を介した制度で、毎月の事業所訪問があるなど、介護の人材育成においては初めてとなります。

歓迎会では先輩職員があたたかい歓迎の言葉とダンスで楽しませてくれました。そして技能実習生もやっと日本へ来ることができたうれさと仕事の決意を表明し、とても和やかに会が進みました。

歓迎会終了後から3日間の宿泊研修を行い、法人の理念や介護の技術研修などを学びました。どの実習生も一生懸命メモを取り、積極的に研修に参加していました。また半年後にはステップアップの研修も行い、技能実習生の支援を続けていく予定です。

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

田原ゆの里 花火鑑賞ビアガーデン

毎年好評の家族会主催、田原花火鑑賞ビアガーデンが行われ、26家族92名ものご家族の参加がありました。屋上のビアガーデン会場にて、生ビールや焼き鳥を片手に、間近に見える大きな花火に歓声や拍手が鳴り響きました。晴天で風もほとんどなく、とても綺麗に花火が見えました。ご家族の協力もあり、職員も一



緒に、楽しい秋のひと時を過ごすことができました。ご参加ありがとうございました。

渥美福寿園 施設内清掃活動



10月19日に草取り活動を行う予定でしたが、あいにくの雨となり、家族会の皆さんと一緒に施設内の清掃活動を行いました。

作業開始前には古橋会長よりご挨拶をいただきました。特に廊下側の窓は、台風19号の影響もあり潮で汚れていましたが、普段なかなか目の行き届かない所まで綺麗にさせていただきました。

ご家族の皆さん、お足元の悪い中参加していただき、本当にありがとうございました。

花の里 環境美化活動

今年二度目の家族会環境美化活動は大雨となり、館内作業の窓拭きを行うことになりました。19名のご家族と職員が力を合わせ、玄関や廊下、居室まで、内側のみとはなりましたが、全ての窓を拭き終えることができました。手早く、そして手際よく進めてくださった家族会の皆さんのおかげで、普段なかなかできなかった窓拭きも行うことができました。皆様、ありがとうございました。

これから寒くなる季節ですが、その中でも皆さまがまた足を運んでくださるような施設環境を保っていききたいと思っています。



豊田福寿園 秋の屋台祭り



秋晴れの澄んだ空の下、きのご飯や焼き芋など、『食欲の秋』を堪能していただいたり、ロビーに展示された利用者様の創作作品を鑑賞し、『芸術の秋』に浸るなど、各々の秋を楽しんでいただきました。「青空の下、家族一緒に秋の味覚を味わえて嬉しい。」と、笑顔で話してくださいました。抽選会では、企業協賛の食べごろの梨や、お子様に喜ばれるジュース、そしてひととき大きな景品の豊田福寿園賞などが皆さまの手に渡り、当選者の喜びの声で会場が賑わいました。

みなみ福寿園 草とり奉仕作業

10月6日、秋晴れの中、家族会草とり奉仕作業が行われました。23名のご家族に来園いただき、普段手入れが行き届かない施設の南側と正面玄関を中心に、草とりと落ち葉拾いをしていただきました。ゴミ袋が30袋出る程の草と落ち葉を取ることができました。「今年は例年より草や落ち葉の量が多いですね」「キレイにしたら散歩道になりそうですね」と、ご家族同士談笑する場面も見られました。

奉仕作業をしていただいたご家族への感謝を忘れずに、今後もみなみ福寿園がご家族にとって、入居者と安心して面会できる場所になるように努めて参ります。



ボランティアさんいつも ありがとうございます。

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

東海福寿園

傾聴ボランティア 遠山 セイ子 さん



5年以上前から、デイサービスに傾聴ボランティアの遠山セイ子さんが来てくださっています。利用者さんとお喋りの他にも、レクリエーションと一緒に盛り上げてくれたり、オカリナの演奏をしてくれたり、遠山さんが来てくれるのを皆さんとても楽しみにされています。運動会や外出レクなどにもお手伝いに来てくださり、利用者さんだけでなく、職員にとっても欠かせない存在となっています。

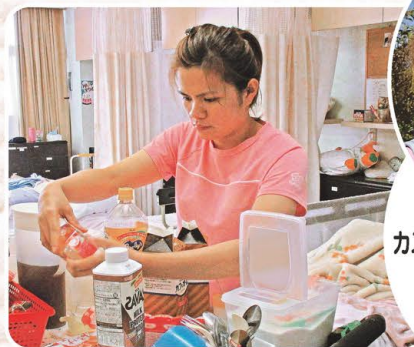
いつもありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



外国人 介護福祉士 候補者リレーインタビュー

福寿園では、現在43名のフィリピン人、5名のベトナム人介護福祉士(候補者)が10施設に分かれて働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q** なぜ日本に来ようと思いましたか？
A 姉が日本に居るため、大学を卒業してから日本で働きたいと思っていました。家族のためにも日本で働いて頑張ろうと思いました。
- Q** 日本で働いてみてどうですか？
A 大変だと思います。家族が遠くて毎日フィリピンに帰りたい気持ちもありますし、一人暮らしが大変です。
- Q** 休日は何をして過ごしていますか？
A 映画を観たり、音楽を聴いたり、買い物へ行ったりもしています。長い休みがあったら姉に会いに行っています。
- Q** 日本に来て嬉しかったことや楽しかったことはなんですか？
A 日本料理と季節です。日本料理で一番好きなのはしゃぶしゃぶ、焼肉と刺身です。日本の季節は秋と春が一番好きです。過ごしやすことや、可愛いくオシャレな服を何でも着られることです。
- Q** 日本で遊びに行った場所で楽しかったところはどこですか？
A 一番楽しかった所はディズニーランドとUSJです。フィリピンには両施設ともないので感動して嬉しかったです。
- Q** 日本人におすすめのフィリピン料理は何ですか？
A ドリアンです。初めて食べると臭いがくさいですが、何回も食べていると美味しくなります。味は甘くてミルクみたいな味です。



カスティリョ シャリン アビロ
ニックネーム
シャリン
武豊福寿園

New ひまわり ギャラリ

入居者・
利用者さんの作品
をご紹介します。

油粘土作品

「ネズミと打ち出の小槌」



豊田福寿園デイサービス利用者 加藤 隆治 さん

「来年の干支の「ネズミ」のように、コツコツ頑張って、
来年も良い一年になりますように」
…との願いをこめて作りました。



令和元年11月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園

■理事長／山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

<http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。